

## 大空町有機農業推進協議会(北海道)

連絡先:(株)大地のMEGUMI  
北海道網走郡大空町女満別日進306  
TEL 0152-74-3020

<p><b>1. 協議会の構成員</b> (株)大地のMEGUMI、めまんべつ産業開発公社、大空町、インターファーム(株)、オホーツク有機農業ネットワーク、(株)丹波屋</p>	<p><b>4. 取組内容(事業実施期間:24~27年度)</b> ○有機農業への参入者の増加 ・栽培技術指導、販路のあっせんを通じた参入希望者の受入 ・有機JAS制度や記帳の研修会等の開催による有機JAS認証の取得を通じた有機農業への参入促進</p>
<p><b>2. 生産概要・成果(平成23年→平成27年の推移)</b> ○面積 有機農業実施面積 11ha→26ha(136%増) うち有機JAS取得面積 11ha→21ha(91%増)、 ○有機農業者数 7名→10名(43%増) ○栽培品目 3品目→5品目(66%増) (パレISHO、カボチャ、アスパラガス 有機飼料等) ○有機農産物の生産量 211ト→296ト(40%増) (馬鈴薯 8.4t 南瓜 174t アスパラ1t デントコーン113t) ○有機農産物の産出額 6百万円→13百万円(117%増) ○主な取引先 3箇所→16箇所</p>	<p>○流通・販売の拡大 ・アグリビジネス創出フェア等への出展等、流通販売イベントにおける市場調査、意向調査を通じた農産物及び加工品の実需者ニーズの把握 ・医療施設 介護施設 学校給食等への供給による販路拡大 ・加工品の開発による農産物の原料向け活用と日持ちの長期化による販路拡大 ・有機農産物の流通の現状及び販路の拡大方法に関する専門的な研修の実施による生産及び販売意欲の向上 ・土壌分析(残留農薬検査等)や成分検査を通じた品質への信頼度の向上</p> <p>○技術の確立・習得の推進 ・栽培技術の導入事例収集及び技術交流による栽培技術の向上 ・栽培履歴情報の提供による実需者・消費者の信頼度の向上</p>
<p><b>3. これまでの課題</b> ○有機農業への参入 ・栽培技術の習得の機会が得られにくく、有機農業により生産された農産物の販路が少ないため、有機農業への参入者が増加しにくい ○流通・販売 ・農産物だけの販売は、日持ちしない、販路に限られる等の理由から、販売量が増加しにくい ・残留農薬等、農産物の安全性に対する消費者の不安 ○技術の確立・習得 ・栽培技術体系が確立されていないため、技術の習得が困難 ○消費者の理解 ・有機農業の環境保全効果、地域の農産物の特徴の認知度や理解度が不十分</p>	<p>○消費者の理解の増進 ・有機農産物の試食販売等を中心としたイベント(輝農祭等)の開催による消費者への周知活動 ・子ども達への食育事業の実施による有機農業の環境保全効果や地域の農産物の特徴に関する理解の増進</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>●有機農業セミナーの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>●子供達によるカボチャ収穫作業風景</p> </div> </div> <p><b>5. 有機農業の拡大に向けた今後の展開</b> ・有機農業への参入の障害となっている輪作体系を保持するための対策として有機飼料の栽培拡大 ・有機農業の取組の拡大のため、耐病性品種の試験栽培、機会除草の技術指導、記帳の指導 ・一般農業者への補助金等(環境保全型農業補助金)のサポートの拡充</p>